

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市民病院運営協議会		
開催日時	令和5(2023)年2月15日(水) 午前10時30分から午前11時30分まで		
開催場所	みよし市民病院 1階会議室		
出席者	【委員】 塚本直樹会長、中島守夫副会長、倉本繁八委員、 廣澤秀徳委員、松崎俊司委員、増岡美菜子委員、 尾崎道子委員、星野孝子委員 【事務局】 成瀬病院事業管理者、伊藤院長、高橋総看護師長、 加藤事務局長、野々山事務局次長兼管理課長、 加藤管理課副主幹		
次回開催予定日	—		
問合せ先	市民病院事務局管理課 加藤 電話 0561-33-3300(直通) メール hospital@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	—
審議経過	(1) みよし市民病院の経営状況について (2) みよし市民病院経営強化プランについて		
会議録	別紙のとおり		

別紙 <会議録>

加藤事務局長	<p>大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。1名まだ委員の方が来られておりませんが、定刻となりましたので、ただ今からみよし市民病院運営協議会を開催します。</p> <p>まず委嘱状の交付をさせていただきます。みよし市民病院運営協議会規程第4条で、委員の任期は2年と定められており、令和6年3月31日までとなります。委嘱状を事前に席にお配りさせていただいておりますので、これにより交付とさせていただきます。</p> <p>それでは、会議次第に沿って会を進めさせていただきます。はじめに、みよし市民病院事業管理者の成瀬達がごあいさつを申し上げます。</p>
成瀬病院事業管理者	<p>病院事業管理者の成瀬です。今日は大変寒い中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>まず、本日お配りしている資料で、お手元の2021年度年報の22ページをご覧ください。病院の組織図が載っております。この病院運営協議会は年1回開催しておりますが、市民の代表の皆様は病院の経営状況や今後の方針などをお話ししてご意見をいただくという会議で、開設者である市長と事業管理者の間にある位置付けとなっております。本日は決算状況などの報告がありますが、令和3年度はコロナ関係の国県からの補助金や市からの負担金などをいただき、16年ぶりに赤字を脱局しました。これから短い時間ではありますが、皆様のご意見をお聞きして今後の病院運営の指針としたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
加藤事務局長	<p>続きまして、院長の伊藤治があいさつを申し上げます。</p>
伊藤院長	<p>院長の伊藤です。病院としてはこの2、3年はコロナとの戦いをしながら院内感染をできる限り防ぐ状況で運営を続けてきました。一時期は患者さんの数も減りましたが、補助金などを貰って少し経営状況は良くなってきている状況です。当院は、昨年より監査法人のトーマツに委託して、経営改革を進めているところです。また、国の指針で公立病院は経営強化プランの策定が義務付けられており、現在この計画の策定を進めている状況です。その説明と併せて、この後時間がありましたら当院のコロナ対応の状況もお話しできればと思います。</p>
加藤事務局長	<p>続きまして、運営協議会規程第5条で、この会に会長・副会長を置くことが定められています。例年、会長には議会代表の委員にお願いしておりますので、会長には塚本委員にお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>賛成</p>
加藤事務局長	<p>ありがとうございます。初めに塚本会長にごあいさつをいただきたいと思っております。</p>
塚本会長	<p>みよし市議会議員の塚本直樹と申します。地元は苅生行政区で、市の職員OBであり、愛知県カーヌー協会の会長や日本カーヌー連盟の監事などもやり、柿と梅の果樹栽培、米作りなどを趣味程度でやっています。</p> <p>本日の会議には、医師、税理士の先生や市の各団体の代表の皆さん</p>

	<p>に出席いただいております、有意義な会議にしたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。</p> <p>私は市議会で文教厚生委員長をしている立場上、こちらの改革プランの発表会にも出席させていただいております。病院改革も積極的に進めていただいております、市にはなくてはならない病院でもあります。本日は、皆さんから奇譚のないご意見をいただきたいと思っておりますのでご協力をお願い申し上げます。</p>
加藤事務局長	<p>ありがとうございました。それでは、資料の委員名簿の順に中島委員から自己紹介をお願いします。</p>
委員・事務局	<p>(委員及び職員自己紹介)</p>
加藤事務局長	<p>これから協議及び報告事項に入ります。議事進行を塚本会長にお願いします。</p>
塚本会長	<p>規定では、役員として副会長を置くことになってはいますが、どのように選出していましたか。</p>
成瀬病院事業管理者	<p>恒例では、医師会の代表の先生にお願いしています。</p>
塚本会長	<p>では、市民病院に以前おられたということもあるので、副会長は中島先生にお願いしたいと思います。また議事に先立ち、運営協議会規程第7条により、書記を管理課の加藤副主幹にお願いします。</p> <p>それでは、次第に沿って会を進めます。</p> <p>協議及び報告事項の(1)みよし市民病院の経営状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
野々山次長	<p>みよし市民病院の経営状況について、まず令和3年度の決算の状況について説明させていただきます。</p> <p>「みよし市病院事業経営状況 令和3年度決算」をご覧ください。</p> <p>資料の「(1)患者数の状況」につきまして、入院患者数は令和3年度が合計3万3,667人で、令和2年度と比較し、2014人増加しました。その一方、外来患者数は6万9,303人で、2年度と比較し、1,791人減少しましたが、総計では10万2,970人となり、2年度と比較し223人増加しました。</p> <p>次に、「(2)の診療収益の状況」につきまして、入院収益は令和3年度が総計約9億9,700万円で、2年度と比較し、約1億200万円増加となっています。その一方で、外来収益は約8億6,400万円で、2年度より約3,000万円減少しました。総計では約18億6200万円となり、2年度と比較して、約9,900万円増加となり、比率にして5.6%の増でした。</p> <p>「(3)の損益収支の状況」につきまして、収益の計は約31億5,200万円となり、2年度と比較し、約2億5,900万円の増加となり、比率にして8.9%増加しました。費用の計は約28億5,800万円で、2年度と比較して約7,600万円減少し、比率にして2.6%減少しました。差し引き約2億9,300万円の収益で、2年度と比較して約3億3,500万円の増収となりました。</p> <p>収益面では、新型コロナワクチン接種の実施、新型コロナに対応した診療報酬の加算や補助金の受入れなどにより増収となりました。費用面では、新型コロナに対応した手当の支給などにより職員給与費が増加した一方で、減価償却費や外来患者数の減少と院外処方への切替</p>

により薬品費などが減少しています。

次に、「(4)の 資本的収支の状況」についてです。資本的収支において、支出の建設改良費が3年度と2年度を比べて約7,600万円増加しましたが、これは老朽化のため空調機や無停電電源設備等の改修工事や中央監視装置の更新工事を行ったものです。固定資産購入費は、全身用X線CT装置や眠りSCAN等を購入したものです。

「(5)の病床利用率」は、全体で75.6%であり、前年度と比較し4.5%増加しています。

次に資料の裏面をご覧ください。

令和4年度上半期の経営状況について、説明させていただきます。

令和4年4月から令和4年9月までの6か月間の実績です。

まず、「(1)の患者数の状況」につきまして、入院患者数は令和4年度上半期が1万6,548人で、前年度同時期と比較して338人減少し、一方、外来患者数は3万6,374人で、前年度と比較して995人増加しています。総計は5万2,922人で、前年度と比較し657人増加し、比率にして1.2%の増加となっています。

「(2)の診療収益の状況」につきまして、入院の収益が約4億9,500万円で、前年度と比較し、約750万円減少し、外来の収益は約4億4,300万円で、前年度と比較し、約1,000万円増加した結果、総計は約9億3,800万円となり、前年度と比較し、約2,500万円増加しました。比率にして0.2%の増加です。

次に、「(3)の損益収支の状況」につきまして、収益計で約14億1,700万円となり、前年度と比較し、約3,300万円増加し、比率にして2.4%増加しました。費用計は約13億500万円で、前年度と比較し約800万円減少し、比率にして0.6%減少しました。差引きで約1億1,100万円の収益で、前年度と比較し、約4,100万円の増収となっています。

収益の増加の主な要因については、令和3年度と同様に、新型コロナワクチン接種の実施や新型コロナ関連の補助金の交付があったことによるものです。

次に「(4)の資本的収支の状況」につきまして、収入における他会計負担金1億4,400万円は、市の一般会計からの負担金です。支出の器械備品購入費は、病棟で使用する洗浄消毒装置やAEDなどを購入したものです。

「(5)の病床利用率の状況」につきまして、令和4年度上半期は、一般病棟が65.9%、療養病棟が84.5%となり、合計74.1%となっています。前年度上半期と比較すると1.5%減少しています。

以上が令和4年度上半期の経営状況です。

続きまして、お手元にお配りしました「みよし市民病院改革プラン2021 点検・評価報告書（令和3年度）」について、説明をさせていただきます。

まず、資料の1ページに総括が載っております。

当院では、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とした中期経営計画「みよし市民病院改革プラン2021」を策定して進めております。

計画初年度となる令和3年度には、目標の達成に向けた評価・報告

	<p>と進捗管理を着実に行うために新たに経営企画室を立ち上げ、各部門において101の施策とアクションプランの実践を図りました。9月には2階病棟の統合を、1月には一般病棟の地域包括ケア病床を14床から18床に増床するなど、経営改善に向けた取組みを進めてまいりました。</p> <p>その評価結果を2ページ・3ページの資料1になりますが、目標値と実績値の比較という形でお示ししております。</p> <p>また、4ページ・5ページの資料2になりますが、令和3年度における収益・費用の明細をお示ししています。収益については全体で前年度と比べ、9.0%の増加、費用については前年度と比べ2.6%の減少、収益と費用の差引きでは、約2億9,300万円の収益となっております。最後に、6ページの資料3では、患者数の状況をお示ししており、令和3年度においては、合計で前年度と比較して、0.2%の増加となっております。</p> <p>みよし市民病院の経営状況の説明については以上です。</p>
塚本会長	<p>ただいま説明がございましたが、最初に3年度の経営状況の報告があり、2年度より3年度の方が経営状況は良くなっているとのことですので。併せて今年度の上半期の経営状況についても説明があり、これもまた前年度より良くなっている状況とのことですので。</p> <p>また、市民病院については、令和3年度から7年度までの改革プランにより経営改革を進めているということで、その令和3年度の実績について説明がありました。病床の利用率について、市民病院には病床が122床あり、その充足状況についても説明がありました。</p> <p>これまでの説明で、ご不明な点や確認したいことなど、ご意見、ご質問のある方は挙手のうえ、ご発言をお願いします。</p>
倉本委員	<p>患者数が増えたことや良くなった要因は何でしょうか。コロナということはあると思いますが他の要因もありますか。</p>
加藤事務局長	<p>一番大きな要因としてはコロナワクチン接種があります。みよし市全体で2割程度を市民病院で受け持っています。2年度、3年度はコロナの関係で患者さんの受診控えもありましたが、それを上回る形でワクチン接種が進んでいますのでプラスになったものと考えられます。</p>
伊藤院長	<p>ほとんどがコロナに関わる収入の増によるものと思いますが、入院患者は増えていて、外来患者は減っています。これは全国的な傾向で、外来患者はどんどん減ってきています。入院患者に関しては、地域連携の強化をかなり進めていて、周辺の開業医の先生との連携や、病病連携といって豊田厚生病院やトヨタ記念病院といった高度急性期の病院からの入院患者の受け入れをなるべくスムーズにする努力を行っていることなどが貢献しているかと思います。</p>
中島副会長	<p>コロナの補助金は、令和3年度決算でいうと特別収益になりますか。またワクチン関係の収益はどうですか。</p>
野々山次長	<p>コロナの補助金は、医業外収益に計上しています。ワクチン関係は予防接種の収益になりますので、その他医業に計上しています。</p>
加藤事務局長	<p>医業外収益で約8億7千万円のうち、約2億円が国県からのコロナ関連の補助金になっています。</p>

塚本会長	他にご質問などはありませんでしょうか。 それでは、経営状況については以上とさせていただきます。
塚本会長	続きまして、次第の(2) みよし市民病院経営強化プランについて、事務局より説明をお願いします
野々山次長	<p>それでは「みよし市民病院経営強化プラン2023」について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>市民病院は、総務省が示した公立病院改革ガイドラインに基づき、平成21年度から「三好市民病院経営改革プラン2009」を皮切りに、プランを策定し経営改善に努めてきております。</p> <p>令和3年度以降も「みよし市民病院改革プラン2021」を策定し、継続して経営改善に取り組んでおりますが、令和3年度末に総務省から新たに「公立病院経営強化ガイドライン」が示されました。これに伴い、現在進めている改革プランにその内容を組み込みまして、令和5年度から令和9年度までを計画期間とした「みよし市民病院経営強化プラン2023」に改定することにしました。</p> <p>計画内容につきましては、まず前段として、市民病院を取り巻く環境ですが、現在本市は他の自治体と比較して高齢化率が低い状況ではありますが、今後は高齢者数が増加していくことから、それに伴い市内全体において入院患者数、外来患者数ともに増加することが見込まれている地域です。</p> <p>西三河北部医療圏については、豊田厚生病院などがあり急性期機能病床が多い一方で、回復期機能病床が少ない状況にあります。</p> <p>その中で、総務省が示すガイドラインでは、地域の「機能分化・連携強化」が掲げられており、みよし市民病院としては、中小規模の公立病院として介護保険事業との整合性を確保しつつ、回復期、療養、在宅医療支援拠点としての役割を担っていくものとしております。</p> <p>それに向けた具体的な取り組みとして、入院診療体制では、一般病棟については地域の基幹病院と連携して、地域におけるサブアキュートを対象とした急性期医療の提供を行うこととし、また、10床を地域で不足している地域包括ケア病床に充てることを考えております。</p> <p>また、総務省のガイドラインにおいては、公立病院として今回の新型コロナのような新興感染症等の拡大時に平時から備えることとされていることから、8床を緊急時に活用できる病床として整備を進めていきます。</p> <p>外来診療体制については、地域の診療所との連携を密接にするために、今後は逆紹介による地域連携を進めてまいります。また地域の診療所が一時的に高度医療機器の利用が必要となった場合に当院を活用してもらえるように、地域医療連携システムを導入していきます。</p> <p>加えて、敷地内への調剤薬局の誘致を検討し、薬剤費の減少を図る一方で、病棟での薬剤管理指導の充実を図ります。</p> <p>在宅医療につきましても、在宅医療支援拠点として訪問診療機能の充実を図ってまいります。</p> <p>その中で、福祉・医療・介護の連携拠点の建設も進めていきたいと考えております。</p> <p>その他の経営改善活動として、右の方に列記してある項目に取り組んでまいります。患者数や収益の増加を図ること以外に、外来オー</p>

	<p>ダーの改善やレセプトチェックの充実など、事業推進の中での改善や、医師・看護師の確保や医師の働き方改革等といったことにも取り組み、業務環境の改善にも取り組んでいきます。</p> <p>資料の2枚目になりますが、プランにおける数値目標をお示ししております。収支改善に係るものや経費削減に係るものということで、諸々の数値目標を挙げさせていただいておりますが、これらの達成を図り、計画最終年度の令和9年度には経常収支比率を100.2%までもっていき、黒字経営を目指していきたいと考えています。</p> <p>最後に資料の3枚目ですが、収支計画を掲載しております。この中で「繰越利益剰余金」という項目がありまして、これは病院の貯金のようなものになりまして、令和9年度で約4億5,000万円を目標に掲げて進めていきたいと考えております。</p> <p>経営強化プランの概要については以上です。</p>
塚本会長	<p>ただいま説明がありましたが、まず基幹病院などと連携して入院患者の受け入れを増やしていく、当然、目標があるので黒字化の目標を立てていくということです。市からの負担金についてはどうですか。</p>
加藤事務局長	<p>経営上で必要なものについては、市に負担をお願いしていきます。</p>
塚本会長	<p>それでは、経営強化プランについて、分からないことなど質問がある方は、挙手のうえ発言をお願いします。</p>
倉本委員	<p>資料3ページの数値目標で、支出のうち職員給与費が減っていくのはどうしてですか。増えていく方が普通のような気がしますが。職員数は減っていくのですか。</p>
加藤事務局長	<p>令和2年度から4年年度までの間は、コロナ関係の特殊勤務手当がかなり出ておりましたが、これが減っていく見込みです。職員数自体は、在宅看護の需要が増えますのでそういった部門は増える要因ですが、それ以外はほぼ横ばいの状況です。</p>
成瀬病院事業管理者	<p>これは人事院勧告がないという前提ですので、世の中が給与を上げるという方向に動いているときに、民間よりも少し遅れて公務員も上げていくという形になると思います。まずその部分が織り込まれていないのが一点と、岸田首相が看護師給与を上げるという答弁をされてから、当院でも看護師に関して月1万2千円給与を上げています。これは診療報酬で補填するというのが国の方針ですが、実際の補填率はこの3か月の実績では55%ほどで、残りの45%は病院の持ち出しとなっていて、楽観的なシナリオは基本的にはないものと思っています。やはり、職員により頑張っていただくという形で、収益を上げながらその部分をトントンにもっていければと考えています。</p>
塚本会長	<p>医療、介護、保育など教員も含めてなかなか成り手がいないということもあり、これはそれを織り込んでいないということですね。</p>
成瀬病院事業管理者	<p>働き方改革の中で、残業なども減らしていく方向であります。</p>
倉本委員	<p>残業は結構多いのですか。</p>
伊藤院長	<p>看護師は結構残業は多いです。医師に関しても当院は高度急性期の病院ではないので、今問題になっている960時間という残業の規制ラインを超える医師は今のところいません。</p>
廣澤委員	<p>病院として残業はどれぐらいにしたいと考えていますか。</p>
伊藤院長	<p>基本的には、一般的な感覚として月40時間以下というのが企業が</p>

	許されるラインとして見られるみたいです。当院は実際今20時間以下なので、このまま現状維持ができればいいと思っています。
廣澤委員	そうすると実際皆さんの手取りはその分減るわけですので、生活を考えるとどれくらいの期間でそれを減らしていくかだと思います。
伊藤院長	当院の場合ですと、どちらかというとい医師よりも看護師や技師などコメディカルの方で残業が減ることで収入が落ちる影響がでる可能性があるかと思います。
成瀬病院事業管理者	プランの中では、病院だけでなく診療所の先生ともできるだけ連携を深めて、例えばMRIやCTなどを撮りたいといったご要望について、外部から直接予約ができるような方向で進めています。診療所の場合は、夜7時などの時間帯までやっておられるので、MRIやCTの受付に関しては、担当の放射線技師が8時までいて、そこは残業を認めていくなど需要に応じていきます。
尾崎委員	地域の方は入院や通院で市民病院を利用されている方も多いため、市民の生活を支えて下さっているという実感があります。私もときどき市民病院に来た時にここの広報誌を見させていただくのですが、結構色々な情報が書いてあって為になります。あの冊子をこの病院内でしか見たことがなくて、どういう場所に置いてあるのかなと思います。私たちの地域ですが、三好ヶ丘には近くに豊田厚生病院があって、そこから広報誌の回覧依頼はありますが、なぜ地域の市民病院の広報誌はないのかなと前から思っていました。もし市民病院のことをもっと知ってもらおうと思ったら、置く場所や回覧を回すなど広報のやり方も考えていただけたらいいのかなと思います。
伊藤院長	ありがとうございます。正におっしゃる通りで、病院の経営改革の一環として、市民病院のことをもっと知ってもらう必要があるよねということで、回覧を回す準備を進めているところです。少しでも皆さんの目に留まるような状況にしていきたいと考えています。
加藤事務局長	市内全域に回覧を回すのに1,400部ほど必要となり、次号から印刷部数を増やして回覧を行う予定をしています。次の3月または4月には回覧ができるかと思います。
塚本会長	他に何かございますか。 なければ、協議及び報告事項で提出された2議案については了承したいと思います。 その他について、事務局から何かありますか。
伊藤院長	コロナ感染に対して当院の対応状況について説明させていただきます。 コロナ禍3年になりますが、現在までに当院が入院受け入れをした新型コロナ患者の総数は217名になります。そのうち、中和抗体療法という治療を目的にしたものが110名、それ以外で状態が悪くなって入院となった通常入院が107名です。この107名のうち、みよし市在住の方が53名で49.5%と約半分になります。残りはどこかというところ刈谷、知立、安城、碧南、高浜まであります。なぜその地域かというところ、みよし市は地域医療構想においては西三河北部医療圏に入っていて、豊田市と連携して地域の医療を行うルールなのですが、コロナに関してはそうはいかなくて保健所の管轄で別れています。豊田市には豊田保健所があって独自に動くことになり、当院は衣浦東部保健所の

	<p>管轄で先ほどの碧南、安城などと一緒に動く形になるため、碧南から当院に入院にくる患者がいらっしゃる状況になります。</p> <p>当院に入院となった患者さんのうち、転院となった方も含めて把握できているだけで25名の方が亡くなっています。当院内では8名の方が亡くなっていて、約4人に1人が亡くなっている状況です。</p> <p>当院のコロナ検査数はトータルで1万1,859件になり、全体の陽性率は31.4%となります。およそ3割の方が陽性ということですが、多い時には60%ぐらい陽性率のときもありました。直近の1月の陽性率は40%ほどでしたが、2月に入ってからは一気に患者さんの数が減っている状況です。</p> <p>コロナワクチン接種については、当院で打った数は集団接種会場を除いて延べ23,260人です。コロナに対しての対策はこれからも続けていきたいと思っています。5月にコロナの感染症の区分が2類相当から5類に変わっていくときに、国の方針がまだしっかり出ていませんが、なかなか世の中のおりにはいかなくて、医療機関に関してはゼロ・コロナを続けていかないと入院患者さんの安全を守れないので、その点に関しては今、病院全体でどう対策をしていくか検討している状況です。</p>
塚本会長	伊藤院長からコロナと市民病院の対応状況について説明がありましたが、何か質問がある方はいますか。
倉本委員	25名の方が亡くなっているということですが、年齢割合はどうでしょうか。
伊藤院長	年齢割合までは出していませんが、入院患者のほとんどが80歳以上ですので、ほとんどが高齢者の方になります。
廣澤委員	<p>コロナの陽性者の集計方法が変わったと思いますが、一緒に旅行した人が陽性になって、私もPCR検査場で検査を受けようとしたら、熱が37度になっていなければ検査ができないので、薬局で抗体検査を自分でやってくださいと言われました。それで薬局で検査したところ陽性が出ました。その後、市民病院に電話したところ電話がいっぱい掛かってきているようで繋がらず、結局報告をしていません。</p> <p>陽性だった人はどこに報告すればいいのか検査キットにも書いてなく、たぶん同じような人がいっぱいいるのではないかと思います。</p>
伊藤院長	自分で検査キットで確認する流れになってから、病院で検査をしない人も増えています。第7波と8波で波の下がり方が全然違うので、報告されている数と実際数は全然合わないのだと思います。
成瀬病院事業管理者	ほとんど把握はできていないと思います。かつては民間の保険で手当が出ることから検査するメリットもあったかと思いますが。今はあえて検査せずに働くという人が増えているのも事実かと思いますが。
塚本会長	ありがとうございました。それでは時間にもなりましたので、議事を終了したいと思いますので事務局からお願いします。
加藤事務局長	<p>任期が2年ありますので、通常であれば、今回は来年度の秋以降に決算状況などの報告になるかと思いますが。委員に変更があった場合は、次の方への引継ぎをお願いします。</p> <p>それでは以上を持ちまして、みよし市民病院運営協議会を終了します。ありがとうございました。</p>